

脱・メタボ教室みんなでレッツ健康生活

日時 11月26日、12月3・11日、午前10時～正午
 (12月3日は午後1時まで)。全3回。
 会場 平石地区市民センター(下平出町)。
 内容 医師や保健師・栄養士による、講話や調理実習を通して、自分の体や健康管理、食事のバランスや新しい特定健診やメタボリックシンドロームなどについて学ぶ。
 対象 生活習慣病予防に関心がある人。
 定員 先着20人。
 費用 700円程度(食材費)。
 申込 電話で、平石地区市民センター☎(661)2369へ。

市保健センター各種教室

日時・内容・定員など 下表の通り。
 会場 市保健センター(ララスクエア宇都宮9階)ほか。無料駐車場はありません。
 対象 市内に在住か通勤通学している人。②・③はウォーキング教室基本編修了者。
 持ち物 ①～③は、運動のできる服装、運動靴、補給用水分。
 申込 電話で、市保健センター☎(627)6666へ。定員になり次第締め切り。

事業名	日時	内容	定員・費用
① ウォーキング教室基本編	11月17日(月)、12月11日(木)のいずれか1日。午前10時～正午(受付:午前9時30分～9時45分)。	安全で快適なウォーキングを行うための講話と実技	各25人 無料
② ウォーキング教室エクササイズ編	12月16日(火)午前10時～正午(受付:午前9時30分～9時45分)。	健康づくりに必要な運動量の講話と筋力を付ける歩き方の実技	25人 無料
③ ウォーキング教室一緒に歩こう編	11月27日(木)午前10時～正午(受付:午前9時30分～9時45分)。	基本編で身に付けた知識などを生かした実技	40人 無料 <small>雨天時は市保健センター内で開催</small>
④ 栄養教室基本編～しっかり朝食!今日も元気～	11月28日(金)午前10時～午後1時(受付:午前9時40分～午前10時)。	朝食をしっかりと取るための講話と調理実習	30人 食材費 600円程度
⑤ 栄養教室基本編～若いうちから骨貯金!～	12月12日(金)午前10時～午後1時(受付:午前9時40分～午前10時)。	骨粗しょう症を予防するための講話と調理実習	30人 食材費 600円程度
⑥ 栄養教室メタボ対策編～肥満予防～	11月25日、12月2・9日、午前10時～正午(12月2日は午後1時まで)。全3回。	肥満を予防し、健康的な生活を送るための講話や調理実習、運動の実技	30人 12月2日のみ 食材費 600円程度

ありがとうございました(敬称略) ぎんなん基金へ 佐々木康子(御幸町) 築島時三郎(氷室町) 斎藤守(横浜市) 河内地区長寿88芸能講座 岡本地区ふれあいカラオケクラブ みどり会 シアルダンス愛好会 栃木美術倶楽部 栃木県歌謡協会宇都宮東支部 宇都宮市地域婦人連絡協議会 ビッグサンユ-駒生店お客様一同。市社会福祉協議会 (636)1215 都市緑化基金へ ダイニチフーズ八洋宇都宮営業所 芙蓉ガーデンクラブ。公園緑地課 (632)2597

11月23日(日)午前9時30分～午後3時
 宇都宮市民福祉の祭典
 会場 市総合福祉センター、



福祉バザー

中央生涯学習センター、ましかど広場、オリオンスクエア。開会式・表彰式。中央小体育館。
 内容 福祉バザー、模擬店(軽食・農産物・手作り雑貨などの販売)、福祉功労者の表彰、福祉パレード、ボラン

ティア団体・福祉施設などの活動パネル展示、市内の小・中学生による福祉書道展・絵画展、栃木SCパブリックビューイング(大型の映像装置を利用して観戦)応援など。福祉バザーにご協力を。バザー用の日用雑貨品や贈答品などの提供に、ご協力をお願いします。
 申込 11月14日までに、市社会福祉協議会に直接お持ちいただくか、ご連絡を。
 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会(市社会福祉協議会内)☎(636)1215

11月7・8日にすこやか荘祭り
 日時 11月7・8日、午前9時30分～午後3時
 会場 すこやか荘(下砥上町)。
 内容 教養講座の作品展示と発表会、地元野菜即売など。
 申込 不要。
 すこやか荘☎(648)7750

11月15・16日にことぶき文化祭
 日時 11月15・16日、午前10時～午後3時
 会場 ことぶき会館(屋板町)。
 内容 老人福祉センターでの日ごころの勉強の成果発表と地域との触れ合い。
 講座の受講生や児童・生徒による作品展示・発表会、介護予防教室・脳トレゲーム、地元新鮮野菜の販売、模擬店など。
 その他 当日、駐車場は、臨時駐車場(南清掃センター)をご利用ください(駐車場と会場間の巡回バスあり)。
 ことぶき会館☎(656)8792

講座・教室

介護予防は元気なときから
いきいき健康サッカートレー
ニング教室

日時 11月13日(木)午前10
時～午後0時30分

会場 青少年活動センター
(トライ東・今泉町) ほか。

内容 栃木SCの選手と一
緒に、いつまでも健康的に過
ごすための運動方法を体験
対象 65歳以上で、運動に
支障のない人。

定員 先着30人
申込 電話で、高齢福祉課
(632)2358へ。

認知症サポーター 養成講座

1 河内総合福祉センター会場
日時 11月27日(木)午後1
時30分～3時30分

定員 先着120人
申込 電話で、市社会福祉
協議会(636)1215へ。

2 ふれあい荘会場
日時 12月6日(土)午前10
時～正午

定員 先着40人
申込 電話で、地域包括支
援センター石井・陽東(660)

1414へ。

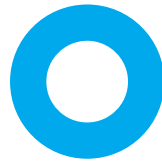
内容 認知症を正しく理解
し、認知症の人や家族を温か
い目で見守る応援者となるた
めの講座。

講座受講後に認知症の人を
支援する目印として、オレン
ジリングを配布します。

対象 市内に在住か通勤通
学している人。

⑩ 高齢福祉課(632)2904

11月14日は 世界糖尿病デー



現在、日
本人の成人
56人に1人
は糖尿病の
可能性があ
るといわれて
います。

糖尿病は予防と治療が肝心
です。「青色の輪」(右図)を
シンボルマークにした世界糖
尿病デー(11月14日)にち
なみ、糖尿病予防講座を次の
通り実施します。

1 糖尿病専門医による講話

日時 11月9日(日)午前10
時～11時30分

内容 糖尿病予防とメタボ
リックシンドロームについて
糖尿病専門医による講話。

2 自宅できる運動のコツと運

動の実践

日時 11月30日(日)午後1
時30分～4時

持ち物 運動のできる服装
運動靴、タオル、バスタオル
飲み物

会場 市保健センター(ラ
ラスクエア宇都宮9階)。

対象 糖尿病予防に関心
のある人。

定員 各先着100人。

申込 電話またはファクス
で、健康増進課(626)112
6、FAX(627)9244へ。

お知らせ

11月4日に

介護給付費通知を発送

市では、介護の必要な高齢
者などが、適正に認定されて
適切な介護サービスを受け、
事業者が適正にサービス提供
するよう、介護保険の給付適
正化に取り組んでいます。

今回、自分の使った介護サ
ービス内容について確認した
りたくため、介護給付費通知を
約2000人に発送します。

介護給付費通知は、請求書で
はなく、新たな負担を求める
ものではありません。

⑩ 高齢福祉課(632)2905

ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒を予防しましょう

感染性胃腸炎は、細菌、ウイルス、寄生虫など多
種多様な病原体を原因とする流行性胃腸炎の総称で
す。近年、ノロウイルスが原因とみられる感染性胃腸
炎の集団感染や食中毒事例が、冬季に多く発生して
います。抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は重症化する危険
もありますので、注意しましょう。

ノロウイルスとは

乳幼児から成人まで幅広い年齢層に感染性胃腸炎を
引き起こすウイルスです。熱に弱く、低温に強い性質
を持っており、少ないウイルスの量でも感染します。
ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は1年を通
じて発生しますが、特に冬季に増加します。

感染経路

ウイルスを口から取り込むと感染します。汚染され
た物に触れた手指を介する場合や、感染した人が調理
した食品を介する場合などがあります。また、ウイル
スを含んだ便や吐物が乾燥して舞い上がり、口から取
り込まれて感染することもあります。

潜伏期間と主な症状

1～2日の潜伏期の後、多くは嘔吐、下痢や発熱な
どが見られます。高齢者や乳幼児の場合は、嘔吐・下

痢による脱水、吐物による窒息や肺炎に注意が必要で
す。通常は1～3日で回復します。

一般的な(家庭でできる)予防策

①基本的な感染症予防の徹底

「手洗い」と「うがい」は、誰でも簡単にできる最
も効果的な感染症予防の基本です。特に手洗いは、調
理を行う前、食事の前、トイレの後には必ず行いまし
ょう。

②調理の衛生管理

食品は十分に加熱(中心温度85℃以上で1分以上)
することが大切です。また、まな板や包丁などの調理
器具は、洗浄後、熱湯や塩素系の消毒剤で消毒すると
効果的です。ノロウイルスにはエタノールや逆性石け
んはあまり効果がないので、注意が必要です。

③家族内感染の防止

家庭内に乳幼児や介護を要する高齢者がいて、下痢
や嘔吐などの症状がある場合には、おむつなどを取り
扱うときに、使い捨ての手袋とマスクの着用をお勧め
します。処理した後はよく手洗いをして、二次感染を
防ぐことが大切です。

⑩ 保健予防課(626)1114

若年性認知症講演会 日時 11月30日(日)午後1時30分～3時30分(午後1時開場) 会場 とちぎ
健康の森 内容 「介護は楽しく アルツハイマー病の妻との軌跡」と題した、斉藤清昭さん(介護家族)
と大森健一さん(獨協医科大学名誉教授)による講話 定員 先着400人 申込 ファクスで、栃木県認
知症の人と介護者の会事務局 0287(80)0516へ。⑩ 高齢福祉課(632)2904

家族介護教室参加者募集

日時・会場 下表の通り。
 内容 要介護高齢者の状態の維持・改善を図るための、介護方法・介護サービスの上手な利用方法や介護者同士の話し合いなど。
 対象 要介護者を介護している家族など。
 各地域包括支援センター、高齢福祉課 (632)2357

日時	会場	問い合わせ先
11月17日(月)午後1時30分～3時30分	昭和地区コミュニティセンター	地域包括支援センターきよすみ (622)2243
11月20日(木)午後1時30分～3時30分	戸祭地区コミュニティセンター	地域包括支援センターきよすみ (622)2243
11月20日(木)午後1時30分～3時30分	錦地域コミュニティセンター	地域包括支援センター東宿郷 (616)1780
11月21日(金)午後2時～4時	姿川地区市民センター	姿川南部地域包括支援センター (654)2281
11月26日(水)午前10時～正午	西原コミュニティセンター	地域包括支援センターようなん (658)2125
11月28日(金)午後2時～4時	瑞穂野地区市民センター	地域包括支援センター瑞穂野 (656)9677
11月29日(土)午前10時～正午	泉が丘地域コミュニティセンター	地域包括支援センター峰・泉が丘 (613)5500
12月2日(火)午前10時～正午	豊郷地区市民センター	地域包括支援センター豊郷 (616)1237
12月5日(金)午前10時～正午	築瀬小学校	地域包括支援センター御本丸 (651)4777

給食施設設置者の皆さんへ
 届出制度をご存じですか

市では、給食施設の設置者に対し、健康増進法などに基き、各種届および栄養管理状況についての報告を求めています。未提出の設置者は、早急に提出してください。

給食施設の届出
 給食施設(継続的に1回50食以上または1日100食以上の食事を供給する施設)の設置者は、次の①③のときに届出が必要です。①給食施設を開始または再開した②給食施設の届出内容に変更が生じた③給食施設を廃止または休止した。

- ① 中高年者縦断調査
 内容 高齢者対策などの基礎資料とするための、健康・就業・社会活動に関する事項。対象 中高年世代のうち、第3回調査で協力を得られた世帯など(12地区)。
- ② 21世紀成年者縦断調査
 内容 少子化対策などの基礎資料とするための、結婚・出産・就業などの実態、意識の経年変化に関する事項。対象 第6回調査で協力を得られた世帯など(6地区)。
- ③ 10月下旬に配布した調査票を、調査員が11月上旬に回収。その他 調査員などに不審な点がある場合には、調査員の提示を求めてください。

④ 保健所総務課 ☎(626)1113

高齢者対策と少子化対策の調査にご協力を

⑤ 健康増進課 ☎(626)1126

大きな健康被害と社会的影響が 新型インフルエンザについて

近い将来の新型インフルエンザの発生が懸念されています。新型インフルエンザ発生時には、4人に1人が感染し、社会機能の破綻が予想されることから、行政だけでなく社会全体として、地震と同じような災害として認識し、今から準備しておくことが重要です。

新型インフルエンザとは
 これまでヒトには感染しなかった鳥インフルエンザウイルスがヒトへ感染し、さらに、ヒトからヒトへ感染するようなウイルスに変異を起し、この新型ウイルスに感染して起こる疾患が新型インフルエンザです。

この新型ウイルスは、全てのヒトが過去に感染したことのない型のウイルスであるため、免疫(抵抗力)がなく、世界中で大流行となり、大きな健康被害と社会的影響をもたらすと言われています。

現在、インドネシアやベトナムを中心に、ヒトに感染する鳥インフルエンザが世界に広がっており、それがいつ新型インフルエンザに変わっても不思議ではないと世界の専門家たちは警告しています。

過去の新型インフルエンザ
 有名なものは、大正7年(1918年)に起こった「スペインかぜ」です。世界の25～30%が感染し、世界で4000万人もの死者を出しました。ほかに昭和32年

(1957年)に「アジアかぜ」、昭和43年(1968年)に「香港かぜ」、昭和52年(1977年)に「ソ連かぜ」が流行しています。これらは現在、通常のインフルエンザとして毎年冬季に流行していますが、当時は新型インフルエンザとして大流行しました。

流行規模の予測

新型インフルエンザの流行規模は、出現した新型インフルエンザウイルスの病原性や感染力の強さなどに左右されるため、出現していない現時点において、その流行規模を予測することは困難な状況にあります。

毎年の通常のインフルエンザの流行では、国民の5～10%が発病していると推計されることから、政府では、新型インフルエンザが発生した場合、国民の4人に1人に当たる約25%の人が感染すると予想しています。

米国疾病管理センターの試算プログラムを用いて本市での流行を想定すると下表のようになります。

項目	推計(人)
外来患者数	66,638
入院患者数	1,691
死亡者数	417

市の人口(503,812人:平成19年12月末)の25%が感染し、流行が8週間続く想定した場合の推計中間値

☎保健予防課 ☎(626)1114

いい歯でスマイルフォトコンテスト作品募集

応募規定 「いい歯でスマイル」をテーマにした、笑顔で元氣な家族・友人などの写真。未発表の四つ切り(ワイド・デジタル可) 応募方法 市役所総合相談窓口、各地区市民センター・出張所、保健所、各保健センター、市歯科医師会会員の診療所などに置いてある応募用紙に必要事項を書き、作品の裏面に張って、市歯科医師会またはカメラのニシネ各店へ 賞 大賞1点(賞状、金券3万円相当)ほか。入賞作品の著作権は市歯科医師会に帰属。☎市歯科医師会 ☎(625)6060、健康増進課 ☎(626)1127

お知らせ

国民健康保険税 年金差し引きから口座振替に

対象 国民健康保険税について、年金から差し引かれていた人のうち、①と②の要件を満たす人。①これまで、保険税を滞納することなく納めている②これからの保険税を口座振替により納める。

申込 電話で、保険年金課
☎(632)2320へ。

4月以降新たに 国保に加入した皆さんの 特定健康診査について

①③のすべての条件を満たす人は、特定健康診査を受診することができます。①4月以降、新たに国民健康保険に加入し、現在まで引き続き加入している②平成21年3月31日までに40～74歳になる③ほかの健康保険で特定健康診査を受診していない。

希望者は、受診券を発行します。健康増進課へ。
受診方法 個別健診または集団健診。

健診項目 身体計測(腹囲など)、血圧測定、空腹時血糖

血中脂質(中性脂肪、コレステロール値など)、肝機能検査(GOT、GPT値など)。

持ち物 市から送付した受診券と健康保険証。

申込 個別健診「市発行の「健康づくりのしおり」に掲載された医療機関へ。集団健診「17ページの表などで、日程・会場を確認し、電話で健康増進課☎(626)1129へ。

高齢者の インフルエンザ予防接種

対象 市内在住の65歳以上か、60～64歳で、心臓・じん臓・呼吸器の機能またはHIVによる免疫の機能に障がいがある人(身体障がい者1級程度)。

接種会場 「健康づくりのしおり」掲載の委託医療機関。事前に接種日時などを確認してください。

接種時期 平成21年3月31日まで。流行前の11～12月上旬に接種することをお勧めします。

接種回数 接種時期に1回(2回目を希望する人は全額自己負担)。

費用 1000円(受診時に医療機関へ直接支払い)。

12月1日は世界エイズデー Living Together

～ ちょっとの愛から始まる事～



レッドリボン(赤いリボン)は、エイズに関する理解と支援のシンボルマークです。

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズまん延防止と、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的として定められており、12月1日を中心に、世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。

平成20年度のテーマは「Living Together～ちょっとの愛からはじまる事～」です。「ちょっとの愛」というのは、ちょっと相手の立場に立ち、HIV・エイズに関して、すごく大きなことでなくても、一人ひとりが出来ることを考え、自分なりの関心を持ってもらうために選定されました。

例えば、パートナーや友人とHIV・エイズについて話してみる、感染の可能性について知りたいと思ったら、電話やネットで予防や検査の方法などについて調べてみるなど出来ることがあります。

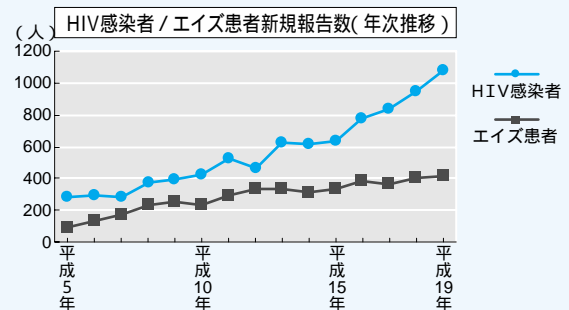
ぜひ、この機会に自分の身近なこととして、HIV・エイズについて考えて見ましょう。

11月21日～12月5日 エイズキャンペーンを実施

会場 市役所1階市民ホール、保健所。
内容 パネル展示、啓発物品・パンフレットの配布、HIV抗体検査・相談(夜間検査も実施)など。
その他 詳しくは、39ページをご覧ください。

エイズの基礎知識
エイズはHIVというウイルスの感染によって起こり、免疫力がだんだん失われていく病気です。HIVに

感染してもすぐエイズが発症するわけではありません。感染から10年前後の無症状期間を経て発病します。感染経路としては、性行為が最も多く、年齢別では20～30代の若い世代が著しく増加しています。



平成19年のHIV感染者とエイズ患者の国の新規報告数は1,500件(前年1,358件)で過去最高となり、平均すると「1日当たり4.1人」が感染している状況です。

HIV(エイズ)の感染経路

- ・性行為による感染
- ・血液を介しての感染(注射器具の共用など)
- ・母親から赤ちゃんへの母子感染

HIVの感染経路は限られているので感染を予防することができます。

こんなことでは感染しません

- ・せきやくしゃみ
- ・蚊やノミなどに刺される
- ・食器や箸の共用や、同じ皿の料理を食べる
- ・握手や軽いキス
- ・そのほか、お風呂やプール、つり革、洋式トイレなど。

保健予防課☎(626)1114

本文中に費用などの記載がないものは、原則として無料
HP ホームページ、☑ Eメールアドレス

ジフテリア・破傷風(DT)二種混合予防接種の受け方が変わりました 昨年度まで、小学6年生を対象に学校での集団接種で実施していた二種混合予防接種が、市内に住居登録のある11・12歳の人を対象に、医療機関での個別接種になりました。保健予防課☎(626)1114

健康診査

生活習慣病の予防、早期発見、早期治療のための各種健康診査を実施しています。年に1度、健診を受け、自分の健康を確かめましょう。「特定健康診査」は、各医療保険者が実施しています。受診を希望する人は、加入している保険証の発行元から送付される特定健康診査受診券を確認してください。なお、各種がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診・歯科健診などは、従来通り健康増進課が実施します。

12月地区健診（集団）

健診会場	期 日
①市保健センター 無料駐車場はありません。	4(木)・6(土)・7(日)・8(月)・14(日)・15(月)・20(土)・21(日)・22(月)・26(金)。

申込 電話で、健康増進課☎(626)1129へ。
節目年齢（40・45・50・55・60・65・70歳）の女性を対象に、全日程で「骨粗しょう症検診」を実施しています。

個別健診

- ・胃がん検診が始まりました。X線か内視鏡の選択制になります。
- ・詳しくは、「健康づくりのしおり」をご覧ください。

12月子宮がん・乳がん併用検診

健診会場	日 時
河内保健センター	7(日)午前9時～。 2(火)・15(月)、午後2時～。

申込 電話で、河内保健センター☎(673)6337へ。

12月乳がん検診（マンモグラフィ検査）

健診会場	日 時
市保健センター	4(木)・8(月)・14(日)・22(月)・26(金)、午後1時からと2時から。
市医療保健事業団 検診センター（竹林町）	3(水)・17(水)、午後1時～と2時～。

申込 電話で、健康増進課☎(626)1129へ。

節目健診

- ・対象者には、誕生日前に案内はがきを郵送します。
- ・健診受診時の注意
- ・受診する際には、必ず健診受診券と保険証をお持ちください。受診券がないと受診できません。
- ・1年度に同じ健診を2度受けることはできません。
- ・各検診とも、市内に住民票のある人が対象です。
- ・国民健康保険加入者は、平成19年度まで国保からの助成により健診料金の半額で受診できましたが、平成20年4月から、医療制度改革により助成制度は廃止となりました。
- ・高齢受給者、長寿医療制度（後期高齢者医療制度）加入者、生活保護受給者、市民税非課税世帯の人は無料です。
- ・詳しくは、「健康づくりのしおり」をご覧ください。

☎健康増進課☎(626)1129

麻しん風しん混合予防接種の対象者が追加

市内に住民登録のある、中学1年生に相当（平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ）の人および、高校3年生に相当（平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ）の人が追加されました。既に、乳幼児期に麻しん風しん単独の予防接種を受けた人も、追加で2回目を受けることとなります。☎保健予防課☎(626)1114

料金免除制度 市民税非課税世帯の人や、生活保護被保護者は、接種料金が免除となりますが、接種前に、申請（要印鑑）が必要です。施設など無料券の申請をまとめて行う場合は、保健予防課へ。

「健康づくりのしおり」の配布場所など、詳しくは保健予防課☎(626)1114へ。

その他 免除申請場所、

みんなで語り合おう こころの健康を考える会

日時 11月28日(金)午後2時30分～4時。
会場 保健所（竹林町）。

内容 家族のアルコール問題などで悩んだり、生きづらさを感じたりしている人どうしの語り合い。事前に保健師が面接。

対象 市内在住の人。
申込 電話で、保健予防課☎(626)1114へ。

B型・C型肝炎ウイルス性肝炎
インターフェロン治療の
医療費を助成

助成対象 市内に住民登録がある、医療保険加入者または長寿医療制度（後期高齢者医療制度）対象者で、B型またはC型肝炎ウイルス性肝炎のイ

助成対象 市内に住民登録がある、医療保険加入者または長寿医療制度（後期高齢者医療制度）対象者で、B型またはC型肝炎ウイルス性肝炎のイ

ンターフェロン製剤による治療を受ける患者。

助成対象となる医療（治療行為） B型またはC型肝炎ウイルスの除去を目的として行う、保険適用となつていないインターフェロン製剤を用いた治療行為。

助成額・期間 毎月、医療保険各法の患者負担額のうち、世帯の市民税（所得割）課税世帯の市民税（所得割）課税世帯に於じた自己負担限度額（5万・3万・1万円）を除いた額。原則として、同一患者について1カ年を限度。

助成方法 対象者には、支給者証を交付します。

夜間対応型訪問介護
夜間・深夜・早朝の定期的な巡回訪問や、通報を受けて排せつの介護などを行うサービスです。利用者が不安なときや助けがほしいときに、ご自宅に備えたケアコール端末機（無料）で、オペレーター（通報受信者）と相談し、必要な介護サービス（訪問など）が受けられます。

申込 電話で、保健予防課☎(626)1114へ。

介護保険の 地域密着型サービス事業

夜間対応型訪問介護
夜間・深夜・早朝の定期的な巡回訪問や、通報を受けて排せつの介護などを行うサービスです。利用者が不安なときや助けがほしいときに、ご自宅に備えたケアコール端末機（無料）で、オペレーター（通報受信者）と相談し、必要な介護サービス（訪問など）が受けられます。

対象 要介護1以上の認定を受けている人。
小規模多機能型居宅介護
地域（日常生活圏域）にある小規模な施設への日中の「通い」を中心に、利用者の状態や希望に応じて、「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを行い、在宅生活の継続を支援します。市内に5つの施設が整備されています。

対象 原則、地域にお住まいの人。周辺地域の人も可。
相談・問い合わせ先 担当ケアマネジャー（介護支援専門員）または高齢福祉課☎(632)2905。